



最近の家庭事情から見れば、珍しい家庭かも  
 困み、雑談をしながら、食事を楽しんでいる。  
 したこともない。毎日、家族全員で、食卓を  
 離ればなれになった事もないし、別々に暮ら  
 私 家庭は、父親・母親・妹の四人家族だ。  
 切なことを教えられたような気がした。  
 っていた家庭の絆が復活すること。なにか大  
 は、とても強いことを実感したのだ。  
 一つの事を通じて、今まで離ればなれにな  
 して、家族は、いつまでも家族で、親子の絆  
 お互いの人生を建て直す事にも繋がった。そ  
 させる事を！ 唯一、父親と協力したことが、  
 束したのだ。どんな事があっても、家を完成  
 ればならないサム悲しみ。しかし、父と約  
 合うことができた父親をもうすぐ手放さなけ  
 に仕事をしてきた父親、やっと真面目に向き  
 しかし、病気は、悪化する一方。今まで一緒  
 ることによって、家族の温かさを感じていた。  
 していく。また、ジョージもサムと一緒にい  
 れ、サムは、どんどん精神的に大人へと成長

している。友達関係や三年生となれば決して、  
 覚で毎日のように、親、特に母親によく相談  
 いつでも真剣に聞いてくれる。私は、友達感  
 対にない。親は、とても良い相談相手である。  
 親に話しても、しようがないなんて事は、絶  
 は、家族と一緒にでなきゃ嫌なのだ。それに、  
 思った事は、何度かある。しかし、結果的に  
 私だって、一人の方が気楽でいいな。なんて  
 ない。こんな言葉が、友達の口から出てくる。  
 が気楽でいい」とか「親に話してもしょうが  
 全く正反対だと思った。それに、「一人の方  
 なんて、滅多にないそうだ。私の家庭とは、  
 の家庭は違うらしい。家族揃って食事をする  
 って、本当にいいの？」など。しかし、友達  
 「いつ帰ってくるの？」とか「先に食べちゃ  
 る。例を挙げるのは、少し恥ずかしいけれど、  
 人でもないかと、次々とこんな言葉が出てく  
 になっっている。だから、食事の時、家族が一  
 思っている。小さい頃からの、我が家の習慣  
 しれない。でも、私は、これが当たり前だと

避けては通れない高校受験の事、色々な事を  
 相談している。親だからこそ、与えてくれる  
 アドバイスもあるし、自分が経験した話など  
 もしてくれる。話している時、一番安心でき  
 て、心を休める事ができる。  
 サムは、ジョージと一緒に過ごすうちに、  
 最初と見違えるほど、精神的に成長していっ  
 た。私は、どうだろうか？ 家族と一緒にい  
 る事で、精神的にちゃんと成長しているのだ  
 ろうか？ 自分では、家族といると甘えが出  
 てきて、あまり成長していないように思える。  
 むしろ、友達といた方が、相手の気持ちを考  
 えなくちゃいけないとか、ここは、相手に譲  
 ろうとかいう気持ちが生まれてくる。家族に  
 も、こういう心がけは必要だと思う。家族な  
 んだから、こんな事、考えなくても良いと、  
 言う人もいるかもしれないけれど、やっぱり  
 「親しき仲にも礼儀有り」というように、い  
 くら家族だからといって、無神経な事を言っ  
 たり、やったりしてはいけない。なんだか、

「他人行儀」に思えるかもしれないけれど、  
 大切な事だと思う。それに、無茶苦茶な事を  
 やらない限り、普段の生活のままでもいいのだ  
 から難しく考える事はないと思う。ただ、こ  
 ういう考えを、心の片隅に置いておくことが  
 大切だと思う。  
 「家族」という言葉は、奥が深い言葉であ  
 る。国語辞典に意味は載っていたけれど、本  
 当に説明をしようと思うと、かなり難しい言  
 葉だ。あえて、説明をしなくても、私達が、  
 一番よく分かっている言葉なのかもしれない。  
 「家族」というものは、海のように、広く寛  
 大なもので、その中で、私達は少しずつ成長  
 しなから、毎日の生活を送り、巣立っていく。  
 そして、新しい「家族」への仲間入りをする。  
 いつの時代もこれの繰り返しである。「家族」  
 は、私達が生きていくうえで、いろんな事が  
 学べる、もう一つの学校と言っているいいだろ  
 う。  
 私は、この本を通して、今までと違う新しい  
 「家族の存在」を見つけられることができた。